

脳神経外科領域で 抑肝散加陳皮半夏が有効であった症例



佐藤 ふみ 先生

安曇野赤十字病院 脳神経外科

1995年 信州大学医学部 卒業
2001年 信州大学大学院医学系研究科 修了(医学博士)
同 年 国立病院機構まつもと医療センター 医長
他、複数の関連病院にて勤務
2008年 安曇野赤十字病院 脳神経外科

はじめに

脳神経外科領域の術後に生じる愁訴はさまざまだが、聴神経腫瘍術後の耳鳴もその一つである。精神的要因も加わり、一般に治療困難な症状であり、ときに術後患者のQOLを著しく低下させる要因ともなっている。漢方薬は患者の愁訴を軽減させることを期待し、西洋医学的に打ち手の少ない病態には是非試したい治療法である。

症 例

症 例：70歳 女性。

主 訴：聴神経腫瘍術後の耳鳴、不眠。

現病歴・所見：図1に示す。

経 過：経過中のMRI画像とオーディオグラムを図2に示す。初診時の腫瘍は内耳道内に留まる大きさで、右の聴力は軽度の難聴であった。7ヵ月後(増悪時)、腫瘍は明らかに増大し、右の聴力はさらに低下していた。中等度の難聴だが耳鳴が強いため実用のレベルではなかった。この後に施行したガンマナイフ照射治療により腫瘍サイズは縮小傾向にあったが、治療の影響もあって右の聴力はさらに低下した。

持続的な耳鳴により不眠をきたすよう

図1 症例 70歳 女性

主 訴

聴神経腫瘍術後の耳鳴、不眠

現病歴

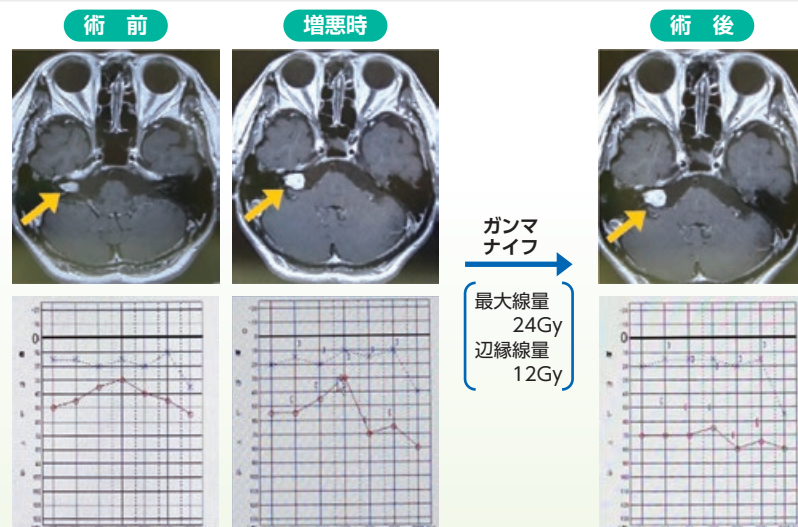
以前から軽度の耳鳴あり。2011年夏ごろより右難聴を自覚し当院耳鼻咽喉科を受診したところ、MRIにて右内耳道に腫瘍を認めたため当科紹介となった。

当初経過観察となったが、7ヵ月後に耳鳴が強くなるとともに腫瘍の増大を認めたためガンマナイフ照射治療を行った。術後より耳鳴がさらに強くなり不眠をきたすようになった。

所 見

右感音性難聴、他神経学的異常なし 小柄、小声
舌 診：淡紅、薄白苔、舌下怒張なし 脈 診：沈

図2 経過中のMRI画像とオーディオグラム



になったため、アルプラゾラム0.4mgを頓服で使用開始した。内服後は短時間眠れるが、耳鳴の強さに変化はなく常にイライラ感や抑うつ感を自覚するようになった。治療の長期化に伴い、喉や目の渇き、著明な寝汗の訴えがあり、気血兩虚と考える人參養榮湯エキスを試したが胃もたれをきたしたため中止した。

イライラ感が前面に出てきたため、抑肝散加陳皮半夏(KB-83)7.5g/日(分2)を開始したところ、「耳鳴が少し治まった」と自覚的な耳鳴の改善がみられ、アルプラゾラムの服用回数が減少し、以前からあった便秘も改善した。

経過を示す(図3)。ガンマナイフ照射治療後から、耳鳴・不眠・イライラ感が増強しており、アルプラゾラムによって不眠がときどき抑えられた程度であった。抑肝散加陳皮半夏の服用開始後に、いずれの症状も軽減している。

耳鳴の発生機序

感音性の難聴は必ずと言っていいほど耳鳴を伴う。通常、聴覚は聴神経から脳幹部の神経核を通じて側頭葉の皮質まで通じる“Classical pathway”を上行する。本症例のように聴神経腫瘍などにより聴神経の自発放電に変化が生じると、聴覚路内に不均衡を生じて、本来は音受容と関係のない視床・視床下部・扁桃体・海馬などの大脳辺縁系を介する“Non classical pathway”聴覚路への変化が起るため、一部の視覚情報や感覚情報もこのNon classical pathwayを通して耳鳴を発生していると考えられる。

抑肝散加陳皮半夏はレビー小体型認知症や強迫性障害など、大脳辺縁系の亢進に起因する病態に効果がみられることがある。耳鳴の発生機序と考え合わせると、推論ではあるが、聴神経腫瘍後に変化したNon classical pathwayに対して抑肝散加陳皮半夏が抑制的に働くことで、耳鳴の軽減につながったと考えられた。

図3 臨床経過

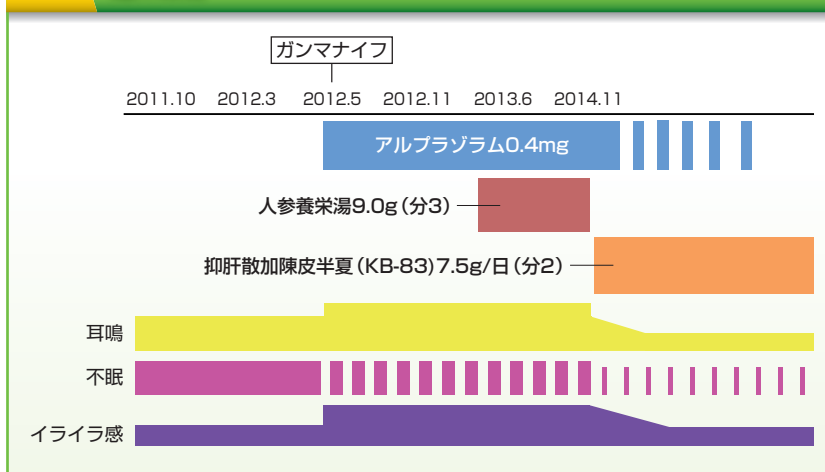
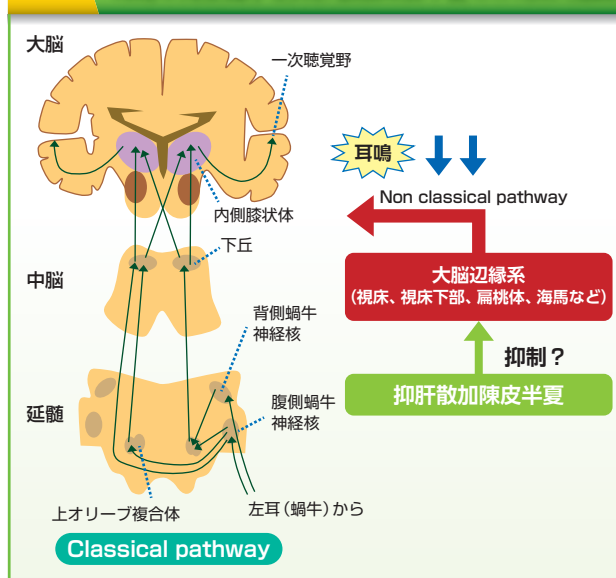


図4 耳鳴の発生機序と抑肝散加陳皮半夏の作用点(推論)



まとめ

聴神経腫瘍術後の耳鳴に抑肝散加陳皮半夏が有効であった。抑肝散加陳皮半夏は、感音性難聴に伴う聴覚路の変化に抑制的に働いている可能性が考えられた。

Discussion

木村: 術後の耳鳴はどのような自然経過をたどりますか。

佐藤: 一般的に治らない方が多く、むしろ耳鳴が増強する方もみられますから、抑肝散加陳皮半夏による耳鳴の改善は初めての貴重な経験でした。

木村: 本症例では人參養榮湯は無効で、抑肝散加陳皮半夏が奏効しましたが、その理由をどのようにお考えですか。

佐藤: もともと胃腸の弱い方で、地黄が配合されている人參養榮湯が合わなかったのだと思います。ですから抑肝散に陳皮と半夏が配合された抑肝散加陳皮半夏が奏効したと考えています。